

あんしん設定

暗証番号について

FOMA 端末で利用する暗証番号について	146
端末暗証番号を変更する	端末暗証番号変更 147
PIN コードを設定する	147
PIN ロックを解除する	149

携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について	150
他の人が使用できないようにする	オールロック 150
他の人が使用できないように遠隔からロックする	遠隔ロック 151
発信や着信ができないようにする	セルフモード 152
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする	PIM ロック 153
ダイヤル発信を禁止する	ダイヤル発信制限 154
他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする	プライバシーモード設定 154
キーの誤操作を防止する	プロテクトキーロック 156
シークレット属性が設定されている情報を表示する	シークレットモード 157

発着信や送受信を制限する

指定した電話番号からの着信を拒否 / 許可する	メモリ別着信拒否 / 許可 157
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する	発番号なし動作設定 159
電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする	呼出動作開始時間設定 160
電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する	メモリ登録外着信拒否 161

その他の「あんしん設定」について

その他の「あんしん設定」について	162
------------------------	-----

FOMA 端末で利用する暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、i モードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA 端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

- ・ 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA 端末¹、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかを確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受付できない場合があります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

- ・ ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。
- ・ 「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1 コード / PIN2 コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。

PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードを FOMA 端末に差し込むたびに、または FOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1 コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請や積算料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

i モードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、i モードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「i モードパスワード」が必要になります。

i モードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

- ・ i モードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかを確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

おしらせ

いたずら防止のため、端末暗証番号 / PIN1 コード・PIN2 コード / i モードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けてください。

電話番号の下 4 桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号の入力に 5 回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号変更

- ・ 端末暗証番号には、4 ~ 8 桁の数字を入力します。
- ・ 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

お買い上げ時 0000

1  8 3 5

2 現在の端末暗証番号を入力

- ・ 正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。Ⓜ を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

3 新しい暗証番号欄を選択 ▶ 新しい端末暗証番号を入力

暗証番号変更
新しい暗証番号
新しい暗証番号(確認)

4 新しい暗証番号(確認)欄を選択 ▶ 操作 3 と同じ端末暗証番号を入力

5 を押す

PIN コードを設定する

- ・ PIN1 / PIN2 コードは変更できません。
- ・ PIN1 / PIN2 コードには、4 ~ 8 桁の数字を入力します。
- ・ 入力した PIN1 / PIN2 コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときに PIN1 コードを入力するように設定する

PIN1 コード ON / OFF

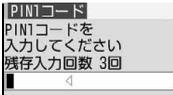
ご契約時 OFF

1  8 3 4 3

2 

- ・ PIN1 コードの入力をなしにする : 

3 PIN 1 コードを入力



- ・ご契約時の PIN 1 コードは「0000」に設定されています。
- ・PIN 1 コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。
☺を押して正しいPIN 1 コードを入力してください。3回連続して失敗すると PIN 1 コードがロックされます。☺を押して PIN ロックを解除してください。
- ・現在の設定を変更する場合のみ PIN 1 コード入力画面が表示されます。

PIN 1 コード ON / OFF を「ON」に設定すると

FOMA 端末の電源を入れると PIN 1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN 1 コードを入力すると、待受画面が表示されます。

- ・正しい PIN 1 コードを入力しないと、電話やブッシュトークの発信、各種通信機能の操作ができません。
- ・PIN 1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN 1 コードがロックされます。☺を押して PIN ロックを解除してください。

お知らせ

アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、電源が ON になり、PIN 1 コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。☺を押してアラームを停止させると、PIN 1 コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定しているも、お買い上げ時に登録されているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラームが鳴ります。

PIN 1 / PIN 2 コード、PIN 1 コード ON / OFF の設定は FOMA カードに記録されます。新しく FOMA 端末を購入されて、現在ご利用中の FOMA カードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いの PIN 1 / PIN 2 コード、PIN 1 コード ON / OFF の設定のままご利用になれます。

PIN 1 / PIN 2 コードを変更する

PIN 1 / PIN 2 コード変更

- ・PIN 1 コードを変更するときは、PIN 1 コード ON / OFF 機能を「ON」に設定する必要があります。

ご契約時 PIN 1 コード、PIN 2 コード：0000

1 ~

2 端末暗証番号を入力 ▶ 現在の PIN 1 / PIN 2 コードを入力



3 新しい PIN 1 / PIN 2 コード欄を選択 ▶ 新しい PIN 1 / PIN 2 コードを入力

4 新しい PIN 1 / PIN 2 コード(確認)欄を選択 ▶ 操作3と同じPIN 1 / PIN 2 コードを入力

5 ㊦を押す

- 現在の PIN1 / PIN2 コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。
 ㊦を押して正しい PIN1 / PIN2 コードを入力してください。3 回連続して失敗すると、PIN1 / PIN2 コードがロックされます。㊦を押して PIN ロックを解除してください。

おしらせ

PIN2 コードの入力を 3 回連続失敗して FOMA 端末がロックされた場合でも、電話やブッシュトークの発信、メールの送受信などは可能ですが、PIN1 コードの入力を 3 回連続失敗して FOMA 端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PIN ロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1 / PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PIN ロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PIN ロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA 端末、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力した PIN ロック解除コード、PIN1 / PIN2 コードは「*」で表示されます。

例 PIN1 コードのロックを解除するとき

- 1 PIN コードロックの確認画面で ㊦
- 2 8 桁の PIN ロック解除コードを入力

PINロック解除コード
PINロック解除コードを入力してください
残存入力回数10回
新しいPIN1コード
新しいPIN1コード(確認)

- 3 新しい PIN1 コード欄を選択 ▶ 新しい PIN1 コードを入力
- 4 新しい PIN1 コード（確認）欄を選択 ▶ 操作 3 と同じ PIN1 コードを入力
- 5 ㊦を押す

PIN ロックが解除され、新しい PIN1 コードが設定されます。

おしらせ

PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA カードがロックされます。



各種ロック機能について

FOMA 端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。

項目	説明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P150
遠隔ロック	FOMA 端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックと IC カードロックを設定し、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P151
セルフモード	電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P152
PIM ロック	電話帳 / プッシュトーク電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P153
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話やプッシュトークを発信できないようにします。	P154
プライバシーモード設定	電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、i モーション、スケジュール、i アプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P154
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤操作を防ぎます。	P156
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示されます。	P157
IC カードロック	IC カード機能を利用できないようにします。	P312

他の人が使用できないようにする

オールロック

各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に FOMA 端末を使用するのを防ぎます。オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

オールロック中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して  を押します。このとき、緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。
- オールロックを設定しても、IC カードロックは設定されません。IC カードロックとオールロックの両方を設定するには、先に IC カードロックを設定してから、オールロックを設定してください。IC カードロックを設定するには ●P312

お買い上げ時 未設定



2 端末暗証番号を入力

「オールロック中」と表示されます。

解除する：待受画面で端末暗証番号を入力

お知らせ

電源を入れる / 切るの操作はできます。また、自動電源 ON / OFF 設定を設定している場合、自動電源 ON / OFF が行われます。

オールロック中に電話やプッシュトークが着信したときは、着信が拒否されますが、着信履歴には不在着信として記録されます（相手には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します）。オールロックを解除すると待受画面に  (数字は件数) が表示されます。

オールロック中も i モードメールや SMS、メッセージ R/F は受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。

オールロック中も FeliCa マークを読み取り装置 (リーダー / ライター) にかざしてトルカを取得できますが、表示はできません。オールロックを解除すると待受画面に  (数字は件数) が表示されます。

オールロック中は、指定した日時になってもアラームやスケジュールアラームは動作しません。

オールロック中は、待受画面に i チャンルの情報はテロップ表示されません。

オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を 5 回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

他の人が使用できないように遠隔からロックする

遠隔ロック

FOMA 端末を紛失した場合などに、設定した動作条件で FOMA 端末に音声電話をかけると、オールロックと IC カードロックが設定され、他人が不正に使用できなくなります。

 OFF

遠隔ロックの動作条件を設定する

1     

2 端末暗証番号を入力 ▶ 各項目を選択して設定

遠隔ロック : 遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。

・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

監視時間 (分): 最初に着信してから設定した回数分の着信があるまでの制限時間を設定します (1 ~ 10 分)。制限時間を超えても設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。また、それまでカウントした着信回数はリセットされます。

着信回数 (回): 遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します (3 ~ 10 回)。

発信元 1 ~ 3 : 遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話も設定できます。

発信元を設定する :

① 発信元 1 ~ 3 欄を選択

② 発信元選択欄を選択 ▶  ~ 

・「発信者番号」に設定したときは、入力欄に電話番号を入力します。 を押すと電話帳から入力できます。

③ 

3 を押す

お知らせ

発信元に、ポーズ (P)、タイマー (T) が設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ (P)、タイマー (T) は降は削除されます。

遠隔ロックを設定する

設定した動作条件で FOMA 端末に音声電話をかけて、遠隔ロックをかけます。

- ・発信者番号を通知して電話をかけてください。
- ・次の場合は、着信回数のカウントは開始されず、遠隔ロックは設定されません。
 - ・相手が電話に出た（応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます）
 - ・FOMA 端末が通話中、プッシュトーク通信中
 - ・FOMA 端末が圏外、電源が入っていない、セルフモード中などで電話がかからない
- ・指定回数分の電話をかける前に次の状態になると、着信回数はリセットされます。
 - ・相手が電話に出た（応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます）
 - ・FOMA 端末の電源が切られた
 - ・設定した監視時間が経過した
- ・オールロック中、IC カードロック中でも遠隔ロックを設定できます。
- ・プロテクトキーロック中（プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時もロック」に設定した場合）に遠隔ロックを設定したときは、オールロックの解除はできませんが、緊急通報はできません。

1 設定した条件で FOMA 端末に音声電話をかける

ロックされた旨のガイダンスが流れ、FOMA 端末は遠隔ロック中になります。

解除する：

遠隔ロック中の FOMA 端末で端末暗証番号を入力してオールロックを解除し、次に IC カードロックを解除してください。

- ・IC カードロックの解除について ●P312

おしらせ

着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効となります。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントされません。

着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされず（呼出時間が「0 秒」の場合を除く）。

伝言メモまたはオート着信機能が設定されている場合は、伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。

遠隔ロック中は、電話やプッシュトークが着信しても切断されます。発信元に設定している電話番号からの電話の場合は、ロック中である旨のガイダンスが流れ、切断されます。

Menu 894

発信や着信ができないようにする

セルフモード

電話やプッシュトークの発信、メールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

お買い上げ時 OFF

1 **ch/クワ**（1 秒以上）▶ 「はい」を選択

セルフモードが設定され、待受画面に **Self** が表示されます。

- ・ショートカット操作したとき：**1** ▶ 「はい」を選択

解除する：**ch/クワ**（1 秒以上）

- ・ショートカット操作したとき：**2**

お知らせ

セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。

セルフモード中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、相手に「不参加」を通知します。

セルフモード中に送られてきた i モードメールやメッセージ R/F は i モードセンターで、SMS は SMS センターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してから i モード問合せ / SMS 問合せをしてください。

セルフモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、セルフモードは解除されます。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

PIM ロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- ・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- ・本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信や着信は記録され、リダイヤルや着信履歴からの発信は可能です。

お買い上げ時 OFF



2 端末暗証番号を入力 ▶ 1

PIM ロックが設定され、待受画面に  が表示されます。

- ・解除する： 

PIM ロックを設定すると

- ・次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。
 - ・メール / チャットメール / SMS / メッセージ R/F ¹
 - ・Bookmark
 - ・i アプリ
 - ・伝言メモ / 音声メモ
 - ・キャラ電
 - ・サウンドレコーダー
 - ・miniSD カード
 - ・メモ帳
 - ・自局番号
 - ・赤外線によるデータ送受信
 - ・メニュー設定（タイルアイコンデザインの「カスタム 1」「カスタム 2」の設定内容の変更）
 - ・ i Menu
 - ・ラスト URL
 - ・画面メモ
 - ・インターネット
 - ・電話帳 / プッシュトーク電話帳
 - ・マイピクチャ
 - ・マイドキュメント
 - ・i モーション
 - ・カメラ
 - ・メロディ
 - ・ビデオカメラ
 - ・バーコードリーダー
 - ・ミュージックプレイヤー
 - ・スケジュール帳
 - ・通話料金上限通知
 - ・アラーム
 - ・ソフトウェア更新
 - ・トルカー一覧
 - ・i チャンネル
- ¹：受信できますが、受信画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。
- ・メニューを表示すると、アイコンが  で表示されたり、文字が薄く表示され、選択できません。ただし、メニュー設定でノーマルを「アニメーション」に設定している場合は、表示は変わらず、選択すると PIM ロック中である旨のメッセージが表示されます。
- ・電話帳に登録されている相手から電話やプッシュトークの着信があっても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- ・伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に  は表示されず、未再生の伝言メモのアイコンも表示されません。
- ・待受画面に i チャンネルの情報はテロップ表示されなくなります。

お知らせ

PIMロックの対象となっているデータを待受画面やテレビ電話の代替画像、着信音などに設定していると、PIMロック中はお待ち上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。

PIMロックを設定すると、留守番電話サービスの伝言メッセージの件数が増加しても、通知音やバイブレーションによる通知は行われません。

ダイヤル発信を禁止する

ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話やプッシュトークを発信すること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- ・ 電話帳 / プッシュトーク電話帳とリダイヤルからの発信はできません。
- ・ 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳 / プッシュトーク電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

お待ち上げ時 OFF



2 端末暗証番号を入力 ▶ 1

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面に  が表示されます。

- ・ 解除する： 2

ダイヤル発信制限を設定すると

- ・ 次の操作ができなくなります。
 - ・ 着信履歴からの発信
 - ・ 電話帳 / プッシュトーク電話帳の修正、登録、削除
 - ・ 自局番号の修正、リセット
 - ・ Phone To (AV Phone To) Mail To 機能
 - ・ 外部機器との電話帳データの送受信
 - ・ i モードメール / SMS の送信
(電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能)
 - ・ メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
 - ・ ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

プライバシーモード設定

プライバシーモードの動作を設定する

プライバシーモード中に電話帳 / プッシュトーク電話帳やメール、マイビクチャなどを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードは手動で起動させたり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。

- ・ プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1  8 3 6

2 端末暗証番号を入力 ▶ 各項目を選択して設定

- ・ プライバシーモード中に、次の機能を利用するときに、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。また、待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

電話帳・履歴：電話帳／プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するときの設定です。

メール：メールを表示するときの設定です。

- ・ 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するときの設定です。

i モーション：i モーションを利用するときの設定です。

スケジュール：スケジュールを利用するときの設定です。

i アプリ：i アプリを利用するときの設定です。

自動起動：プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

3  

おしらせ

プライバシーモード中（マイピクチャ、i モーション、i アプリを「認証後に表示」に設定した場合は）、次の操作を行おうとすると、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

- | | | |
|---|-------------------------|---------------|
| ・ 電話発信設定 | ・ 電話着信設定 | ・ テレビ電話発信設定 |
| ・ テレビ電話着信設定 | ・ メール送信画像設定 | ・ メール受信画像設定 |
| ・ 問合せ画像設定 | ・ テレビ電話画像選択 | |
| ・ 電話帳の新規登録／編集 | ・ グループ設定の電話発信設定／メール着信設定 | |
| ・ 音の設定 | ・ 待受画面設定の i アプリ設定 | ・ 発番号なし動作設定 |
| ・ メッセージ着信設定 | ・ メール着信設定 | ・ チャットメール着信設定 |
| ・ アラーム設定やスケジュールのアラーム編集（「i モーションを選択」を選択したとき） | | |
| ・ 自局番号編集 | ・ マルチナンバーの着信設定 | |

自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

- ・ プライバシーモード設定で自動起動するように設定した場合は、設定に従って起動します。

1  (1 秒以上)

解除する： (1 秒以上) ▶ 端末暗証番号を入力

- ・ プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面で  を 1 秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

おしらせ

「認証後に表示」に設定した機能をプライバシーモード中に利用する場合、一度端末暗証番号を入力すると、待受画面に戻るまで端末暗証番号の入力は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の項目を利用する場合も同様です。

(例) プライバシーモード中(電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合)に、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに端末暗証番号を入力するため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても端末暗証番号の入力は不要です。

プライバシーモード中(電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合)は、発着信時などには電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。また、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。

プライバシーモード中(i アプリを「認証後に表示」に設定した場合)にメール連動型 i アプリ用のメールフォルダを選択したり、i アプリをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

プライバシーモード中(メールを「認証後に表示」に設定した場合)にメール連動型 i アプリを削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

プライバシーモード中(マイピクチャ、i モーションを「認証後に表示」に設定した場合)は、FOMA 端末電話帳で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを着信音や画像に設定しているときは、電話帳や電話帳のグループ設定ではなく、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定に従って動作します。ただし、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。

プライバシーモード中(マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合)は、静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。また、FOMA 端末電話帳を miniSD メモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA 端末電話帳に設定された静止画は、コピーやバックアップされません。

プライバシーモード中(i モーションを「認証後に表示」に設定している場合)は、動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。

キーの誤操作を防止する

プロテクトキーロック

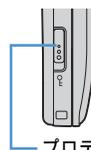
キー操作を無効にし、鞆などに入れて持ち歩く際の誤操作を防ぎます。

お買い上げ時 未設定

1 プロテクトキーを下にスライドさせてから離す

プロテクトキーロックが設定され、待受画面に  が表示されます。

- ・プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時は解除」に設定している場合、FOMA 端末を開いた状態で設定すると、一時解除の状態を設定されます。待受画面で FOMA 端末を閉じるとプロテクトキーロックが設定されます。



プロテクトキー

解除する：プロテクトキーを下にスライドさせてから離す

FOMA 端末を開いたときのプロテクトキーロックの動作を設定する

プロテクトキー動作設定

FOMA 端末を開いたときに、プロテクトキーロックを一時解除するかどうかを設定します。

お買い上げ時 スライドオープン時は解除

1       ~ 

お知らせ

プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。

- ・音声電話着信時、テレビ電話着信時に で電話を受ける、 で応答保留にする（ ではテレビ電話を受けられません）
- ・プッシュトーク着信時に または で応答する、 で「不参加」を通知する
- ・エンキーでアラーム音や着信音などを止める
- ・ で実行中の機能を終了する
- ・遠隔ロック中にオールロックを解除する

着信時やアラーム鳴動時、メールやメッセージ R/F 受信時などでも、プロテクトキーを下にスライドさせてから離すと解除できます。

プロテクトキーロック中や一時解除中に、自動電源OFFによって電源が切れた場合は、プロテクトキーロックは解除されます。一時解除中に手で電源を切った場合も同様です。

プロテクトキーロック中でも、 を押すとディスプレイが点灯します。

シークレット属性が設定されている情報を表示する

シークレットモード

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定 / 解除する場合、シークレットモードを設定する必要があります。

お買い上げ時 未設定

1

2 端末暗証番号を入力

シークレットモードが設定され、ディスプレイ上部に が表示されます。

解除する：待受画面で

- ・待受画面で を押しても解除されます。

お知らせ

シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でない場合は、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。シークレットモード中は、アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。 を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。

指定した電話番号からの着信を拒否 / 許可する

メモリ別着信拒否 / 許可

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否 / 許可を設定します。

- ・本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否 / 許可を設定してから、本設定で着信拒否 / 許可を有効にしてください。設定項目と着信の拒否 / 許可の動作は次のとおりです。

メモリ別着信拒否 / 許可	電話番号ごとの着信許可 / 拒否設定		
	着信許可	着信拒否	設定なし
許可設定	着信する	着信を拒否する ¹	着信を拒否する ¹
拒否設定	着信する	着信を拒否する ¹	着信する
設定解除	着信する	着信する	着信する

1：設定した電話番号から電話やプッシュトークが着信しても、着信音が鳴らずに切断され、相手側には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します。

- ・本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- ・着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- ・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- ・番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- ・本機能はプッシュトーク着信にも有効です。発信者に着信拒否 / 許可を設定していると本機能が動作します。

着信を拒否 / 許可する電話番号を指定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否 / 許可を設定します。

- ・ FOMA カード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶

2 端末暗証番号を入力 ▶ 電話番号を選択

3 ~

- ・ 着信拒否 / 許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に  が表示されません。
- ・ 解除する : 

おしらせ

FOMA 端末電話帳の詳細画面では  を押し、「設定 / 確認」「設定」「着信許可 / 拒否設定」を選択します。着信拒否 / 許可を設定している電話番号を変更 / 削除した場合、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更 / 登録後の電話番号に着信拒否 / 許可を設定してください。

着信拒否 / 許可設定を有効にする

- ・本機能の設定は着信拒否 / 許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
- ・拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

 お買い上げ時  設定解除

1

2 端末暗証番号を入力 ▶ ~

- ・ 解除する : 

おしらせ

着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。

- i モードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- ・電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定、音の設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ・電話番号が通知されないテレビ電話やプッシュトーク（発信者が発信者番号を通知してこなかった場合）を着信した場合は、該当する発信者番号非通知理由の着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、テレビ電話のときは音の設定 / テレビ電話着信設定に、プッシュトークのときは音の設定 / プッシュトーク着信設定に従って動作します。

お買い上げ時 すべて設定解除

1 ▶ 端末暗証番号を入力

2 ~

- ・通知されない理由ごとに操作 2 ~ 4 を繰り返します。
- ・非通知理由については ●P59

3 各項目を選択して設定



着信動作 : 発信者番号が通知されない電話が着信したときの動作を設定します。

- ・「設定解除」に設定すると、音の設定の電話に設定した着信音が鳴ります。
- ・「着信拒否」に設定すると、着信を拒否します。
- ・「着信音 OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- ・「メロディ」または「着メーション」を選択したときは、メロディまたは動画 / i モーションを選択します。
- ・「設定解除」「着信拒否」に設定すると、イメージ表示は設定できません。「着メーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示 : 発信者番号が通知されない電話が着信したときに表示する画像を設定します。

- ・「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- ・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- ・「i モーション」を選択したときは、フォルダー一覧から動画 / i モーションを選択します。フォルダー一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

・選択時にメロディ、動画 / i モーションを再生して確認するには ●P122

4 を押す

おしらせ

「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。

着信動作の「着メーション」に音声のみの動画 / i モーション（歌手の歌声など映像のない i モーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash 画像を除く）を変更できます。

メモリ登録外着信拒否を設定している場合に発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したときは、本機能よりもメモリ登録外着信拒否の設定が優先されます。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする 呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話、プッシュトークが着信したとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレーションなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- ・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時 OFF



2 各項目を選択して設定

着信呼出動作 : 着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

呼出開始時間(秒) : 着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します(1 ~ 99 秒)。

時間内不在着信表示 : 呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 を押す

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- ・設定した時間が経過する前でも、電話やプッシュトークに出たり伝言メモで応答できます。その場合、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定していても、かかってきた電話やプッシュトークは着信履歴に記録されます。
- ・PIM ロック中やプライバシーモード中(電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合)は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- ・次の場合も、本機能が動作します。
 - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
 - ・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが優先されます。

- ・公共モード(ドライブモード) ・伝言メモ ・留守番電話サービス ・転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否/許可や発信番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークが着信した場合は、本機能よりもメモリ別着信拒否/許可や発信番号なし動作設定が優先されます。呼出開始時間を留守番でんわサービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

- ・番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- ・呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。
- ・本機能はプッシュトーク着信にも有効です。発信者が電話帳に登録されている場合に本機能が動作します。

お買い上げ時 OFF

1     

2 端末暗証番号を入力 ▶ 

- ・解除する : 

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、着信音は鳴らずに切断され、相手には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します。

- ・着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- ・次の場合も、着信を拒否します。
 - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
 - ・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき

お知らせ

発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。

- i モードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

次のようなあんしん設定があります。

目 的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定	P269
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『iモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
iモードどうしのメールだけを受信/拒否します。	iモードメールのみ受信/拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告 メール拒否	
1日に1台のiモード携帯電話から送信される200通目以降のiモードメールを拒否します。	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時にiモードを利用して、安否情報を登録/確認します。	iモード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信/拒否します。	アドレス指定受信/拒否	
受信するすべてのSMSまたは非通知SMSの受信を拒否します。	SMS一括拒否/非通知SMS拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P196 P218
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P312
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P472
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P477